

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（128）」

2. 日時：令和3年9月29日（水）16時00分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官※、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官※、松末技術参与、磯田係員

北海道電力株式会社：藪執行役員 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・ 泊発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁谷です。それではヒアリングを始めたいと思います。今日は泊発電所の敷地ごとに震源を特定して策定する地震動についてということで、今からヒアリングを行います。
0:00:16	まず資料の説明のほうを北海道電力からよろしくお願いします。
0:00:25	サカモトより説明させていただきます。
0:00:27	ページをお願いいたします。
0:00:31	ページと3ページに例は3年7月30日審査会合における指摘事項をお示ししております。
0:00:37	本日はその対応ページについて、
0:00:42	まず指摘地盤地震のマグニチュード震央距離図において、震度より1を適正化することという、
0:00:49	しまして、地震のマグニチュード震央距離図によって深度の記載と変更し、
0:00:55	14ページお願いいたします。
0:01:01	右上の図ですね、敷地周辺の被害地震のマグニチュード震央距離図において、今回は深度の境界線の下に凡例を示していたんです。
0:01:10	今回、上に変更。
0:01:13	期待値を適正化しております。
0:01:15	同様に、53ページお願いいたします。
0:01:23	53ページにつきましてもどうぞ使用しておりますので、こちらもあわせて修正しております。
0:01:29	ページお願いいたします。
0:01:34	2番以降基盤表面の設定を明確に
0:01:40	大きな表面の設定位置を明確にしております。
0:01:43	ページをお願いいたします。
0:01:49	次の丸の上のほうですね、開口基板表面として設定するの前のほうに置こう0mということで、解放基盤表面の設定位置を明確にしております。
0:01:59	これに合わせて35ページを願います。
0:02:08	35ページですけれども、地下構造モデル三つを、
0:02:12	その解放基盤表面というところで相当の表現というところ。
0:02:18	ます。
0:02:20	時規制庁タニですけど、ちょっとですね、こういって小さいのか。
0:02:25	ブツブツちょっと切れるような感じがあるので、もう少し大きい声でマイクに近づけて発言をお願いいたします。
0:02:34	失礼いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	それでは 2 ページをお願いいたします。
0:02:42	いまして三番積丹半島北西沖の断層における層厚による地震動評価結果の比較において、
0:02:49	鉛直方向についても使用設備の固有周期を記載することという指摘事項につきまして、鉛直方向にも主要設備の更新を追記しております 136 ページをお願いいたします。
0:03:05	136 ページの右側のオートスペクトルですけれども、こちらについても水平方向と同様に設備固有周期を記載しております。
0:03:16	1 ページをお願いいたします。
0:03:19	いまして 4 番、積丹半島北西沖の断層について走向 46 についても検討件数として選定し、不確かさを考慮した検討を行うことという指摘事項につきまして、基本震源モデルとして層厚 0° 20° にして加えて、層厚 40° を考慮することとして、不確かさを考慮して検討しております。
0:03:38	134 ページをお願いいたします。
0:03:45	層厚 40° を追加するにあたって層厚の設定の考え方を修正しています。
0:03:51	地震動評価といたしましては、前回、水平方向として記載していたんですけれども、EW方向の地震動記載に関する議論があったことを踏まえまして、今回は水平方向をNSEW方向と分けて整理しております。
0:04:04	その結果、
0:04:05	上の箱の下から 4 行目の最後らへんからですけれども、NS方向では層厚 0 の地震動型の地震動と同等以上の傾向となって、
0:04:13	NS方向の周期 0.2 秒から 0.3 秒の一部において層厚 20 度の地震の大きくなっている。
0:04:19	いうことに加えまして、EW方向の周期 0.1 秒から 0.5 秒において層厚 40° の地震動が大きくなっているという記載を追記しております。
0:04:30	135 ページをお願いいたします。
0:04:34	35 ページ、SIについても同様に、NS、EW分けて考えた場合を踏まえております。
0:04:42	上の箱の一番下の丸ですけれども、水平方向のうちEW方向では応答スペクトル強さSIは層厚 40 度が大きいという記載を追記しております。
0:04:52	これに伴いまして、真ん中の黄色の四角なんですけれども、層厚 0 どう考慮する層厚 20° についても考慮するという前回の記載内容を追加いたしまして、一番下、EW方向において、断層モデルを用いた商業用地震動及び
0:05:07	応答スペクトル強さが大きい層厚 40 度についても考慮するということを追記しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:13	これを踏まえて層厚 40 でも層厚 020 度と
0:05:16	時することということで整理してます。
0:05:20	137 ページをお願いいたします。
0:05:25	確かさを考慮するパラメーターとして層厚 0° 走向技術のケースを同様に層厚 40° ケースも同様に設定することによって米印のところに追記しております。
0:05:36	138 ページをお願いいたします。
0:05:40	地震動評価ケースといたしましては層厚 0° 結束扇状ケースどう同様に設定しているんですけども、こちら表として走向炎上ケースを追記いたしまして、基本震源モデル、不確かさ考慮モデルの断層の傾斜角、応力降下量の
0:05:55	そう追記しております。
0:05:58	145 ページをお願いいたします。
0:06:07	145 ページから 147 ページにつきましては層厚 45 ケースのモデル図とパラメータ表を記載しております。それぞれ基本震源モデル、断層の傾斜角、応力降下量の不確かさこうゆうモデルについて記載しております。
0:06:22	148 ページをお願いいたします。
0:06:27	148 ページにつきましては地震規模の評価ということで層厚 40° ケースについての考え方も追記しております。
0:06:36	149 ページをお願いいたします。
0:06:39	149 ページにつきましては、耐専の適用性の検討ということで、148 ページで設定した走行検証ケースの
0:06:48	適用性を検討するというので、地震規模と $X_{eq}$ をプロットいたしまして適用範囲内にあることを確認しております。
0:06:56	これを踏まえて 150 ページ 151 ページをお願いいたします。
0:07:02	50 と 151 ページでは応答スペクトルに基づく地震動評価結果を記載しております。
0:07:08	層厚 40° ケースは、断層モデルの位置と敷地の関係から、不確かさ考慮モデル、断層の傾斜角についての場合に対して、NFRD 効果を考慮しております。
0:07:19	170 ページをお願いいたします。
0:07:26	170 ページから 178 ページにつきましては断層モデルを用いた手法による地震動評価結果を記載しております。
0:07:33	それぞれ基本震源モデル、不確かさ考慮モデルの
0:07:36	断層の傾斜角、応力降下量、
0:07:39	それぞれに対し、加速度 8 系速度発見応答
0:07:43	スペクトル図を記載しております。それらをまとめたものが 179 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:53	179 ページには、層厚 0 層厚 20° のケースに加えて、そこを 45 ケースを追加積丹の全結果を示しております。
0:08:02	約 28 ページをお願いいたします。
0:08:12	約 28 ページ、5. 一章、積丹半島規制沖の断層による地震の比較ということで、平成 29 年 7 月 28 日の審査会合における地震動評価結果と比較を行っているというところで今回評価の部分、層厚 40° を追加いたしましたので、その結果、
0:08:28	なお、約 23 ページまで反映しております。
0:08:34	2 ページをお願いいたします。
0:08:37	No.5 検討用地震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、基本震源モデルを用いてアスペリティの影響を確認することといたしまして、
0:08:47	すべての検討地震について再浅部のアスペリティー律の挙動を確認すること。
0:08:52	積丹半島沖の断層については、敷地に近い深さを行うアスペリティー律の挙動を確認すること。
0:08:58	アスペリティが複数ある断層については各アスペリティの
0:09:01	つることという指摘事項につきまして、基本震源モデルを用いて足助アスペリティの影響を確認しております。
0:09:09	約 53 ページをお願いいたします。
0:09:17	253 ページ以降、5.5 小アスペリティの影響に関する検討を追加しております。
0:09:23	253 ページではアスペリティの影響に関する検討として方針をお示しております。
0:09:29	検討用地震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、基本震源モデルにおいて最大加速度が大きいケースを用いてアスペリティの影響を確認、検討しております。
0:09:40	このとき、短周期側の地震動を対象としておりまして、統計的グリーン関数を用いることとし、接続周期を考慮してお示しております。
0:09:51	お示している内容といたしましては二つありまして、(1)アスペリティ再浅部の影響といたしまして、再浅部 1 列の影響について検討。
0:10:01	積丹半島沖の断層については再南部一律の影響についても検討しております。
0:10:06	(2)各アスペリティの影響。
0:10:09	をいたしまして、アスペリティ複数設定しているFS10 断層からの連動断層及びFB2 断層による地震については書かせてPTの影響についても検討しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:20	約 50455 お願いいたします。
0:10:24	見開きでお示しておりますけれども、255 ページ、尻別川断層の地震の結果を示しております、いずれの方向においても、アスペリティ再浅部一律の影響が大きいということを確認しております。
0:10:36	約 56 ページには 57 ページをお願いいたします。
0:10:40	こちらも同様にFs10 断層からの連動断層に対して、アスペリティ再浅部一律の影響を検討しておりますけれども、いずれの方向においてもアスペリティ再選ビジネスの影響が大きい。
0:10:51	増加しております。
0:10:54	約 58 ページ、259 ページにおきましては、積丹半島木曾沖断層、地震の層厚 0 度ケースを示しております。
0:11:03	いずれの方向においても、アスペリティ再南部一律の影響が大きくなっている。
0:11:08	また、周期 0.2 秒程度より短周期側では、アスペリティ再選ぶちと再南部一律の地震動が同程度となっていることを確認しております。
0:11:18	260 ページ、261 ページをお願いいたします。
0:11:23	こちらでは、積丹半島布施沖の断層による地震の層厚 20° ケースを示しておりますけれども、こちらもいずれの方向においても、アスペリティ再南部一律の影響が大きくなっていることを確認しております。
0:11:36	また、周期 0.4 秒程度より短周期があれば、アスペリティ再浅部一律と再南部一律の地震動が同程度となっていることを確認しております。
0:11:45	260263、お願いいたします。
0:11:52	こちらでは積丹半島沖の断層ゲル自身の層厚 45 ケースについてお示しております。
0:11:57	いずれの方向においても、アスペリティ際の道ですね、影響が大きくなっているのかしております。
0:12:03	264 ページ、265 ページをお願いいたします。
0:12:07	FB断層についても同様にしております、いずれの方向がいても、アスペリティ再選一律の影響が大きくなっていることを確認しております。
0:12:17	266 ページ、267 ページ。
0:12:20	いたします。
0:12:23	こちらについては各アスペリティの影響ということで、FS10 断層からの連動断層について、それぞれのアスペリティの影響を検討した結果、アスペリティ 1234、いずれの方向についても敷地に近い位置にアスペリティといたしまして、アスペリティさんの影響が大きくなっていることを確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	約 68 ページ、269 ページをお願いいたします。
0:12:45	同様に各アスペリティの影響ということで、FB2 断層による地震についてもしました。
0:12:51	いずれの方向においても、北断層アスペリティと南断層アスペリティは同程度となっていることを確認しております。
0:13:01	3 ページをお願いいたします。
0:13:06	No.6FB断層による地震において、経験的グリーン関数法に用いる要素地震適用性及び検証に関する記載を適正化するとともに、経験的グリーン関数法を採用している理由を適正化することという指摘事項につきまして、経験的グリーン関数法に用いる要素地震の適用性
0:13:24	及び検証に関する記載を修正しております。
0:13:27	経験的グリーン関数法を採用している理由を修正しております。
0:13:32	54 ページをお願いいたします。
0:13:37	前回の資料の前後で要素地震に関する記載内容のそごがあったということを踏まえまして、全体を倒すとして次の通り修正しております。
0:13:46	別に内容といたしまして、米印一番最下欄。
0:13:50	どうぞ。
0:13:51	米印のところなんですけれども、FB2 断層の位置する日本海等縁部で発生した 1993 年北海道南西沖地震及びその余震に関して、
0:14:01	要素地震として適切な地震規模等の地震ではないものの、敷地で地震観測記録が得られていることから、審査会合での指摘事項を踏まえ、地震観測記録規模などを再度確認した上で、この地震観測記録を要素地震とする経験的グリーン関数を用いた地震動評価も実施する。
0:14:19	修正しております。
0:14:21	同様に 108 ページ、245 ページについても統一した表記としてます。
0:14:28	約 14 ページをお願いいたします。
0:14:39	経験的グリーン関数法の採否としていたしましては、ハイブリット法と比較して大きいからということで前回も記載したんですけれども、仮に小さくとも採用していたということを踏まえまして、大きいことを踏まえてとなる箇所を削除しております 249 ページも同様な記載をしておりますのでそこについても削除。
0:14:59	3 ページをお願いいたします。
0:15:04	検討用地震の地震動評価結果の比較を参考での検討結果として記載すること。
0:15:10	まして、
0:15:12	検討用地震の地震動評価結果の比較を参考ではなく、検討結果としており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:17	約 25 ページをお願いいたします。
0:15:28	約 25 ページにつきまして、前回参考扱いの記載としておりましたけれども、参考扱いを取り上げるとともに、積丹 40 度を今回追加しておりますので、その結果を反映しております。
0:15:41	資料の修正資料の説明をいただきます。
0:15:49	はい規制庁タニで説明ありがとうございました。それでは資料の内容について確認していきたいと思います。
0:15:56	まず今回の大きな検討というか追加されてる内容としてはNo.コメントのNo.4 の積丹半島
0:16:06	北西沖の断層の走向 40 と、あとはコメントNo.5 のあれですよ、アスペリティの企業どうといったことを確認してるっていうのが、検討としては大きな内容かと思っておりますので、ちょっとその辺の確認をしていきたいと思います。
0:16:25	どう。
0:16:28	179
0:16:31	ページですか。
0:16:34	179 ページが
0:16:36	そこ 40 度についてもこれまで聞いてきた 0 とか 20 度とか同じように検討したと、全部を
0:16:44	評価結果として、前評価評価したの全部のオートスペクトルを書いているんですけど、ちょっとですね、多分色づけなんすけど。
0:16:58	こういった不確かさで、色を変えるっていうのも、日見る分には必要かと思うんですけど、今回 40° っていうのを追加した検討が 40° なわけで、それがこれまでの評価結果に対してどうなってるのかっていうふうな見方をしようと思ったら、
0:17:18	ちょっと色合いとしては例えばこれに加えて、
0:17:21	計係数。
0:17:24	ケースごとの、例えば色分けをすとかですね、これ今み見ていくと 40° 係数が、
0:17:32	一点鎖線っていうのを 1 点破線というのはわかるんですけど、かなり資料として埋もれてしまってる感じを受けて、
0:17:40	何かその辺わかりやすい図を 1 個追加していただけたらと思うんですけどよろしいですか。
0:17:50	北海道電力ノジリです。そうですねあの今お示してる 179 ページの後ろま 180 ページっていうか後ろのページにケースごとに色分けした図を 1 枚入れるようにします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:03	以上です。
0:18:12	はい、お願いします。
0:18:15	あとですね、
0:18:20	ちょっと私わからなかったのが、
0:18:25	あと、
0:18:28	アスペリティの企業等確認しましたという。
0:18:32	ところなんですけれども、
0:18:35	これ、
0:18:37	例えば、例えばでいうとどこがいいかな。
0:18:40	255 ページだとかで、
0:18:45	これ
0:18:48	懇合会でのコメント通り、こういった 1 列を見たんだけどもっていうことでこう入ってるんですけども、
0:18:57	なんて言うんですかね、この結果、結果として、いずれの方向においてもアスペリティ再浅部一律の影響が大きくなっているっていうことを書かれてるんですけど。
0:19:09	多分これだけを見ても、なんていうんですかね、全体の地震動に対して、
0:19:15	それほど高アスペリティ位置ですので近づいているわけでもなくて、
0:19:23	これが本当にこの結果だけからは、この図だけでいえるのかなっていうのがちょっと見て取れなくて、どうしてこのなんか浅部一律の影響が大きくなっているっていう、どう読み取ったらいいのかっていうのをちょっと
0:19:39	確認させてください。
0:19:46	当然力のサエキです。
0:19:50	ご指摘の通り、Asperityの再編分の 1 列の結果が全体の地震動評価。
0:19:58	同程度まで行っているかという、そういうものではございません。
0:20:03	けれども
0:20:06	浅部の一律の一部の評価結果を抜き取った結果としては、全体に占める割合影響というのが大きいというふうに判断している。
0:20:25	検討やってるかどうかで確認させていただきたいんですけど、例えばこれ 2 列目も見ているからそういったことがいえるのかとか、
0:20:34	その辺どうなんです。ここ多分相対的な話なので、ここ比べナイトウなんかなかなかこの結論にはいかないのかなと思うんですけど、例えば 2 列目だけを見たりとかは、資料にはないんですけどやっちゃったりします。
0:20:54	北海道電力ノジリです。2 列目等の検討っていうのは正直やってませんというの、1 列名をやってみてどの程度というのが今回、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:07	改めて解析してわかったという状態ですので、今御説明した通り、おとすときにちょっと尻別川の 255 ページっていうのが、騒音何上がってないっていう感じではありますけど、逆に他の断層、257 ページの
0:21:23	FS10 からのやつとかだとある程度支配的っていうような感じにも、
0:21:28	見えてくるんですが、尻別川だとそうでもない、ただこれ一応最大加速度レベルとかそういう意味で言うと、まあ半分とか 3 割から半分 6 割とかっていうぐらいの影響度にはなってるなんていうことで、
0:21:42	基本的には 10 メッシュをして 8 メッシュに切っているものの 1 列劣ってる中でいうと影響が大きいということだと思って、一応この資料としては書かせていただいているものでございます。
0:21:55	金融庁谷です。
0:21:59	何か追加でやって欲しいところでもないんですけど、さっきの 1 列分としては大きいんだとかいうのが何かこう理由がつけられるのであれば、それをつけていただいたら私はこの説明について納得できるんですけど、ちょっと今のまんまずっと図だけを見て、
0:22:17	なかなか私もこの評価っていうのが正しいのかどうなのかっていうのがわからないので、ぜひ、ちょっと説明を追加していただけたらと思います。
0:22:28	北海道電力ノジリです。今の結果の何らか定量的というかというような内容を追記するかという方向だと思います。ちょっとまた一律を追加すると今度 1 列で足りてるのかっていうことになる可能性があるんでありますんで。
0:22:45	とりあえず今の内容でちょっと結果のほうもちょっと詳細に整理したものを書かせていただきたいと思います。
0:22:53	はい規制庁谷です。はい、お願いします。もうこれはあれですよ。積丹半島正方形とかについても同様のことが言えて、ぜひちょっとそういった観点で、わかりやすい資料にさせていただけたらと思います。
0:23:07	あとはですね、267 ページで、
0:23:14	この分析結果を見てみると、
0:23:18	当EW方向は全部なんですけど、これ応答スペクトルだけで見るとですね。
0:23:27	断層全体
0:23:30	よりも、アスペリティさんだけアスペリティさんだけの地震動のほうが、これ大きくなる、なっているという結果になってると思うんですよ。で、
0:23:42	これについて何か考察だとかああアスペリティさんだけのほうが大きいんだけれども、全体の地震動見るべきなんだという考えなのか、ちょっとその辺の
0:23:58	全体よりもアスペリティさんだけのほうが大きいことについてちょっとどう考えるのかっていうのを説明してもらっていいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:11	北海道電力のサエキです。
0:24:16	今Fs10 断層のほうですねアスペリティ産のものが
0:24:23	大間断層の一部を切り出して評価している。
0:24:29	断層全体の結果としましてはその他の領域による評価も
0:24:37	ということで、その波の方の影響で同じ
0:24:41	でも結果として上下といいます代表載せはっていると。
0:24:49	考えている。
0:24:50	でございます。
0:24:57	規制庁タニですけど、あれですかねその他のアスペリティとか、どこもなんか相殺し合うような感じの影響もあって、
0:25:07	全体の断層全体で見ると、Asperityさんより小さくなったりしているっていうような説明ですかね。
0:25:18	はい。
0:25:21	すみませんなんかマイクが聞こえなく音が入ってなくて、はい。
0:25:27	はい、そのように考えております。
0:25:31	規制庁タニです。
0:25:35	なんかしっかりとですね分析した結果っていうのは何か説明が欲しいなど。
0:25:42	思っているのと、あと何かただ単にオートスペクトルだけを見ると、じゃあ、
0:25:49	何ていいですかね。乱暴な言い方すると、アスペリティTさんだけのなんか、
0:25:56	評価のほう大きいんじゃないのかとかそんな話。
0:26:01	なのに、結局のところ断層全体っていうのをですね、地震動としては考えるわけなんですよ。で、その辺の北電の考え方っていうのをですねしっかり資料に書き込んで欲しいなと思うんですけど。
0:26:19	どうですかね。
0:26:29	北海道電力ノジリです
0:26:32	うん。
0:26:34	時刻歴がはっきりで上に振幅で留守電振幅出るといことで波の重なり合わせで当然、
0:26:42	出っ込み引っ込みというんですかね、上がったたり下がったりするっていうのは当然の出来事だと思って。
0:26:47	まず、Asperityさんでやると一部の周期体で大きかったり逆に言うて一部の周期体で切っちゃくなったりもしますんでそれでアスペリティ差をとるのがいいのかっていうことではないと思ってますし、当然パラメーター設定という考え方の中では断層全体でモデル化を含んだ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:05	結果を今切り出した評価をちょっとしているということになりますんで、そういうものを抜き出したものをなんていうの要因分析としてはできるとは思ってますけどそれが評価結果というものではないという判断だと思っております。
0:27:20	このケースだとそうなってっ確かほかの破壊開始点だとこのケースで言うと、
0:27:26	そうになってないっていうか通常通り断層全体が大きくなったりもしてますんでちょっとそういう場合があるときだけもしかするとほかのケースも含めて、
0:27:36	議論をさせていただくことになるかと思えますねん追加ちょっと分析しても1回追加したいと思えます。
0:27:43	はい。規制庁タニです。そうですね今防止量としては、本当に
0:27:49	音スペクトルだけをこう切りまんのことばかりといえば切り取ったものをこう何か見ているので、ちょっとその辺の説明をしていただけるといいのかなと思えますのでぜひお願いします。
0:28:18	規制庁タニです。あとですね、ちょっと今回の説明とはちょっと値は範囲が違うんですけど、御社のほう、
0:28:28	応力降下量 1.5 倍っていうのを検討しているんですけど。
0:28:33	これもですねちょっと具体的な
0:28:37	なんて言うのかなやり方をやりかたとかどういう考えでやってるのかっていうのをですね、何か資料上わかるようにしていただきたいくて、例えばこれ先行サイトだったらさっきの島根のまとめだとかでは降灰入ってるんですよ
0:28:57	フーリエスペクトルの
0:28:59	日が来基本震源モデルの 1.5 倍になるようにしてるとかですね、ただ単に応力降下量 1.5 倍に
0:29:08	してるんだっていう言葉だけではちょっと足りないかなと思えますので、今のところどうなってるんですかね短周期レベルが 1.5 倍になるようなフーリエスペクトルの比が、
0:29:22	基本の 1.5 倍になるような検討されているってことなんですかね。
0:29:29	北海道電力ノジリです。そうですねあの泊の敬遠さんとしてはフーリエスペクトル短周期側ですね、売れスペクトルが 1.5 倍になるというような解析になっている昔、
0:29:41	その問題があったというFO-B方みたいな話があった方の問題ない方法だったと思ってますんで、その内容をちょっともう1回島根のほうを見ながら整理させていただきます。
0:29:52	規制庁タニですお願いしますFO-Bフォローっていう言葉で言うと、法を使ってるっていうことかと思いましたので、はいそうですね、はい。
0:30:01	はい、お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:04	あとはですね、
0:30:07	資料なんですけど。
0:30:09	前回の会合で津波のときに、これ
0:30:14	泊発電所 3 号炉と入れるべきじゃないのかという、というような壊死コメントがあったと思うんですけど、これ地震動についても、基本は同じだと思ってまして、
0:30:28	ここ 3 号炉の審査ということで理解していいですか。前の人なら、ちょっと資料の泊発電所 3 号炉っていうことを明記して欲しいんですけど。
0:30:46	北海道電力ノジリですおっしゃる通り、我々としては 3 号基は 3 号炉側優先ということで、審査いただいていると思ってますただあの地震動については多分 12 号と 3 号ともともと共通になる評価としては共通になるということで泊発電所という
0:31:05	表現をさせていただいてきましたが前回の津波のこともありますんで、3 号機とさせていただいて今後 12 号機の話になったときはまたその時ということだと思いますんで。はい、修正はさせていただきます。以上です。
0:31:20	規制庁タニです。はい。よろしく願いいたします。
0:31:40	規制庁側はオンラインで参加されている方は確認したいこととかはありませんか。
0:33:41	規制庁タニですけど。
0:33:45	さっきのちょっと話戻りますけど、その企業との話なんですけど、今の資料では 1 列名
0:33:55	き裂名が影響が大きくなっているというのがなかなか見えてなくてということで補足の説明されるっていうお話だったんですけど、これ。
0:34:05	例えば 2 列目 3 列目みたいなものがあれば、それはそれで何か一目瞭然な感じがするんですけど。
0:34:13	やっぱりこれを検討するっていうのはそれなりに時間だとかかかるってことなんでしょうか。
0:34:22	北海道電力ノジリです。当然解析回すもの手続き論品質品質保証っていう意味ではそれなりの時間はかかるのはかかりますということですが
0:34:35	確認としては、例えば、
0:34:37	今回お示ししている短周期がものによって 1 秒弱ぐらいからの示している範囲ですけどこれはこれでもう問題がないというところでよろしいかということと、
0:34:50	あと、やるケースも、例えば尻別川と積丹がちょっとその辺が見えづらいところかなと思ってますんでその係数を絞らせていただくとかそういうような対応を
0:35:03	話はできるかなと思うんですが、
0:35:08	いかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:11	規制庁タニです。最初の運営とこれで問題ないっていうのは、あれですかね徴収企業が入ってないけど、そういう検討でいいのかっていう質問ですか。そうですねもし仮に追加の解析をするとなったときに、後でまた長周期側も必要だっていうふうになると。
0:35:30	ちょっと解析が追いつかないということになりますんでということでございます。いや、それはあれですよ断層モデルで見てるところの話に限ってということなので、それはいいと思ってますんで、もう1点を尻別川。
0:35:49	断層わかりにくいところが確か尻別川と積丹半島ということんだと思いますので、その辺が説明が加えられたらなというふうに思っておりますけど。
0:36:05	はい、北海道電力ノジリです。多分今の状況である程度定量化したわかりにご説明をしたとしても多分、
0:36:16	それでははっきりしないんじゃないかっていうコメントになるだろうということでしょうか。ちょっとすいませんこの聞き方すいませんが、
0:36:24	規制庁タニですけどあんまりこう出てくるものがよくわからない中でそんなこと言えないんですけど。
0:36:32	多分わかりやすいのは1層、そのデータ見せてもらうのがわかりやすいかなというふうに今思っていますけど。
0:37:18	北海道電力ノジリです今、
0:37:21	ざっくり見積もると時間的な話でいうと多分3週間ぐらいに3週間3週間ぐらいかかるんじゃないかなろうかと。
0:37:31	思うんですが、そのような時間軸、
0:37:36	考えております。
0:37:45	規制庁とニーズと大体そのぐらいかかるっていうのは、認識しました。
0:37:53	ちょっとですねまずは
0:37:57	うん。先ほど言われたような説明をしていただいて、例えば別には、我々はこれはすぐ際浅部一律が
0:38:08	一番効くことを何かし、
0:38:12	示しなさいとかそんなこと言ってるわけじゃなくって、しっかりとこの本分析の中でどう考えてるのかっていうのがわかればですねそういう分析をちゃんとしていただきたいということなので、1一同、先ほどお答えいただいたような内容で、
0:38:30	所資料ってしといていただけたらなと思います。よろしいですかね。
0:38:37	はい、北海道電力ノジリです。はい。まざっ現状評価の分析というか、の内容で書かせていただいて、資料のほうは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:45	追記したいと思います。はい、お願いします。あくまでこう何か考えてるこう考えてる内容がどうというふうにかけてこうされてるのかっていうのがわからないということで確認させていただきたいということなのでよろしくお願いします。
0:39:05	あと規制庁タニですけど。それでは今何か幾つか修正しますといったことがあったと思うんですけどそれらを
0:39:16	反映させるのにどれくらい時間かかりそうですか。
0:39:28	滞納電力ノジリです
0:39:30	今までいただいたコメントであると記載の適正化というか表現の見直しとか、そういうあたりが多いのでそれほど時間が
0:39:40	わからないと思っておりますはちょっと社内手続き等もあるんで。
0:39:45	1 当然 1ヶ月もかかるものではないという
0:39:52	うんと言っていいのかはしますけどでぐらい速やかには対応できると思っております。
0:39:59	そもそも速やかにの前がちょっと聞き取れなくて、
0:40:06	はい。学的には 2 週間ぐらいいただければ社内説明含めて対応したいと思っております。
0:40:32	規制庁タニです。わかりました。でき次第、めどが立ち次第、一度連絡いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
0:40:42	あとは、その資料を見て、
0:40:48	また、
0:40:49	判断しますけど、例えば今修正したままで会合に行くとしたら、
0:40:56	説明時間どれくらいになるんですかね。
0:41:14	北海道電力ノジリです今日御説明が多分 10
0:41:18	うん弱ぐらいだったと思っておりますのでそれより多少コンパクトにな会合の説明になるんで 15 分とかそのぐらいのイメージだと思っております。
0:41:29	はい、確認できました。またその辺のロジ的なことは確認させてもらおうと思っておりますけどよろしくお願いします。
0:41:36	こちらのほうの確認は以上なんですけど。
0:41:43	北電さん、何かございますか。
0:41:56	北海道電力ノジリです。込めていただいたところの内容については理解しております。理解しましたので、はい、大丈夫です。
0:42:06	規制庁タニです。それでは本日のヒアリングは終わりたいと思います。お疲れ様でした。
0:42:14	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。